

愛知学泉短期大学 「数理・データサイエンス教育」2024 年度自己点検・評価報告書

2024 年度における「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」を構成する「データサイエンス教育」についての点検・評価を内部質保証委員会で行った。

1. 点検・評価に用いた資料等

- ①上記科目のシラバス
- ②上記科目の履修状況に関するデータ
- ③上記科目の履修学生の自己評価結果
- ④上記科目の授業評価アンケート

2. 教育プログラムの履修状況、学習成果の把握・改善

2024 年度より、1 年生全員が履修する必修科目として当該プログラムを開講した。

短期大学では生活デザイン総合学科が 2023 年度入学生から開講された。

2024 年度入学生は食物栄養学科、幼児教育学科も 1 年前期の必修科目として当該プログラムが開講された。履修修得状況は全ての学科で履修・修得されている。

学習成果についてはそれぞれの学科の特色を踏まえた実データを扱うこと、定期試験に加え、課題レポートや Google Classroom を活用した小テストなど、複数の評価手法を組み合わせることで、学生の理解度や習熟度をきめ細かく把握できている。一定の効果があげられている。

さらに学生の理解度や習熟度を上げるため必要に応じて教育内容や指導体制の見直しを行うこと。学生の学びがより効果的なものとなるよう、教育内容の質的向上と PDCA サイクルの実践を通じて、継続的な教育改善を目指していく。

3. 今後の実施に向けた改善計画

本学では、併設の愛知学泉短期大学との連携科目として開講しているため、学内での本プログラムの存在や目的については全学的に周知されている。

今後は、教育の質のさらなる向上を目指すとともに、特に短期大学 3 学科の特色を活かし、専門分野において数理・データサイエンス・AI リテラシーの知識や能力をどのように活用できるかを明確に意識させる教育活動を展開していく。

そのためには、より具体的な実例やデータを活用した演習を取り入れ、各分野で実践的に役立つデータ活用力を育成する工夫が求められる。このように、進路設計やキャリア形成と直結した実践的な学びを通じて、社会で求められる力の育成を目指していく。

以上